



令和4年度決算報告

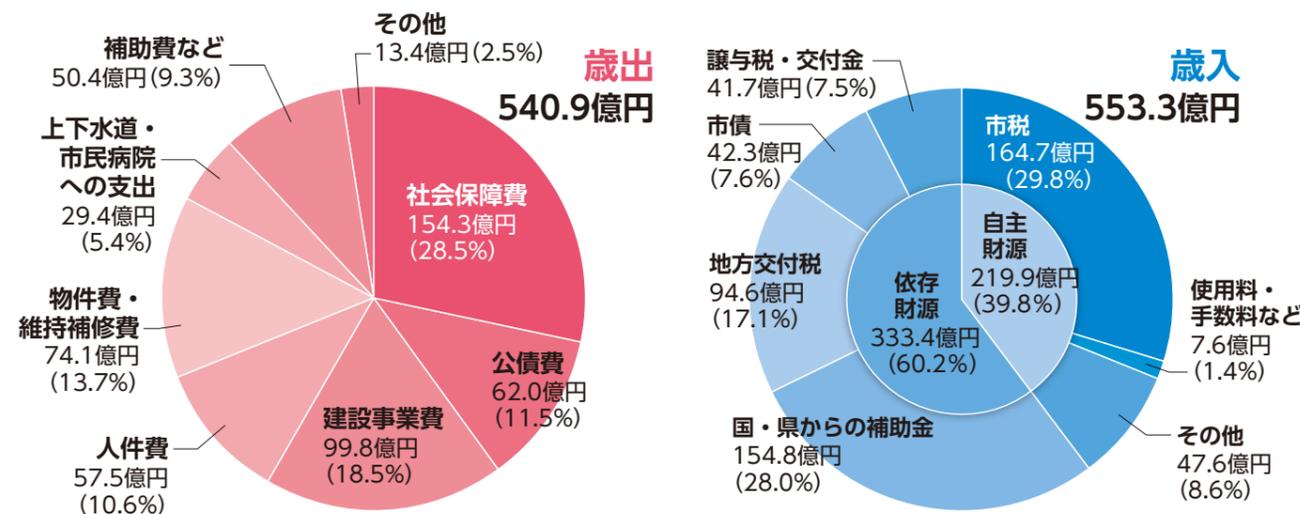
決算のあらましと市の財政状況

令和4年度(令和4年4月～令和5年3月)の決算についてお知らせします。

問い合わせ

財政課 ☎24・8144

一般会計の決算 ※()内は構成比



歳入歳出差引：12.4億円 翌年度繰越財源：5.0億円 実質収支：7.4億円

令和4年度決算の特徴

歳入では、企業業績や個人消費の回復などにより、市税がコロナ禍前の水準にまで回復したほか、昨年8月の大雨災害や除雪などに多額の経費がかかったため、地方交付税が大幅に増額し、歳入総額は553.3億円の決算額となりました。

歳出では、北陸新幹線小松駅開業という千載一遇のチャンスに向けた小松駅周辺整備や幸八幡線の整備、学校改修などの建設事業費が増加したことや、大雨災害に係る災害復旧・復興対策と生活再建支援、学校給食無償化の全中学生への拡大などに取り組んだことにより、歳出総額は540.9億円の決算額となり、収支としては7.4億円の赤字決算となりました。

- 北陸新幹線小松駅開業
- Komatsu 九や駅東西広場の整備
- シェアサイクルの導入
- 物価高騰対策
- エネルギー高騰への事業者支援
- プレミアム付き商品券
- まちの発展
- 安宅新産業団地の整備
- 正蓮寺産業団地への企業誘致
- 教育・子育て環境の充実
- 全中学生の学校給食費無償化

特別会計(5会計)の決算

(単位:億円)

| 会計名 | 収入 | 支出 | 差引 |
|---------|-------|-------|-----|
| 国民健康保険 | 96.5 | 96.5 | - |
| 介護保険 | 100.1 | 97.0 | 3.1 |
| 後期高齢者医療 | 17.4 | 17.3 | 0.1 |
| 産業団地 | 21.0 | 21.0 | - |
| 公債管理 | 109.1 | 109.1 | - |
| 合計 | 344.1 | 340.9 | 3.2 |

特別会計と企業会計

市の会計には「一般会計」とは別に、国民健康保険や介護保険などの特定の事業を運営する「特別会計」と、病院や水道など民間企業のように事業収益を集めて運営する「企業会計」があります。

※企業会計では、資本的収支の不足分を、事業を運営して生じる純利益と現金支出を伴わない費用から生じる内部留保資金で補っています。

企業会計(3会計)の決算

(単位:億円)

| 会計名 | 収益的収支 | | | 資本的収支 | | |
|------|-------|-------|------|-------|------|-------|
| | 収入 | 支出 | 差引 | 収入 | 支出 | 差引 |
| 水道 | 27.2 | 22.5 | 4.7 | 1.9 | 8.3 | ▲6.4 |
| 下水道 | 41.2 | 39.0 | 2.2 | 28.2 | 48.0 | ▲19.8 |
| 市民病院 | 101.1 | 92.7 | 8.4 | 7.6 | 9.6 | ▲2.0 |
| 合計 | 169.5 | 154.2 | 15.3 | 37.7 | 65.9 | ▲28.2 |

収益的収支
1年間の営業結果を表します。

資本的収支
施設の建設や整備に関する収支です。



決算の内容を更に詳しく知りたい人へ

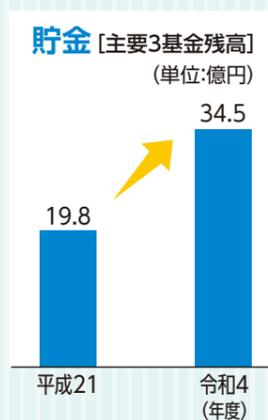
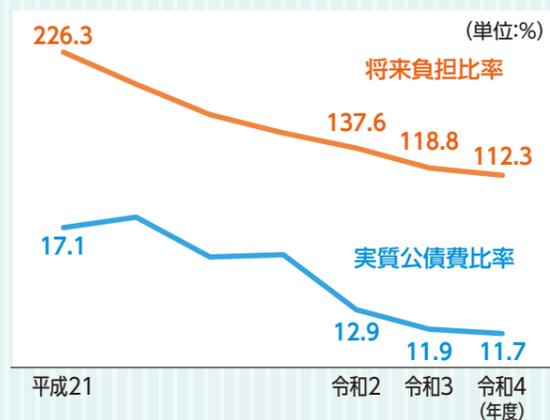
令和4年度決算の内容を分かりやすくまとめた冊子「決算のあらまし」を作成しました。市ホームページからご覧になれます。



健全化判断比率の状況

健全化判断比率の指標については、実質公債比率が前年度比0.2%改善して11.7%、将来負担比率が前年度比6.5%改善して112.3%となりました。今後も引き続き、健全な財政運営に努めます。

※実質公債費比率とは、収入額に対する借金返済額のこと、将来負担比率は収入額に対して市が抱えている負債の割合のことです。



市の借金残高・貯金残高

令和4年度の小松市の市債(借金)残高は、基金を活用して繰上返済を行うなど約18億円改善し、全会計で約1147億円となりました。

貯金(主要3基金・決算積立後)は、年度間の財源調整などのために確保しており、令和4年度末は34.5億円となっています。

※主要3基金とは、財政調整基金、地域経済活性化対策基金、減債基金の3基金のことです。

今後も未来への投資に備えて貯金を確保しつつ、将来負担軽減に取り組みます。